

<p>産業宣教: OMC時代の伝道者の生活の一心、全心、持続 (11)文芸、出版、編集、デザイン「作品を作りなさい」(使1:1)</p>	<p>聖日1講: 十字架のことば (Iコリント1: 18-31)</p>	<p>聖日2講: 神の御霊 (Iコリント2: 1-12)</p>	<p>伝道学: 伝道者の生活の一心、全心、持続 (11)「個人伝道」(使8:26, 29)</p>
<p>1. 詩78:70-72 (1) 時代が込められた文 (2) 賛美 (3) 技能 (4) 羊飼いの王</p> <p>2. 使1:1 (1) ルカ - 人生の作品 (2) テオピロ - 時代の作品 (出会い) (3) 霊的なメッセージ</p> <p>3. ロマ16:25-27 (1) 世々にわたって長い間隠されたもの (2) 永遠にあるもの (3) 今すべきこと</p>	<p>* 序論 ▲パウロが言うのに「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」パウロが「十字架のことば」と言った。英語聖書には「ことば」という単語をMessageと翻訳している(韓国語聖書では「道」)。十字架に対するメッセージ、十字架に対する道、キリストに対するメッセージ、そこに対する道を私が見つけなければならない。十字架のことば、十字架のメッセージ、十字架の道、キリストの道とは何か。</p> <p>1.世の中の知恵と人間の知恵、人間の限界を悟って十字架の力を握るのが十字架の道だ。 ▲12-14節「あなたがたはめいめいに、「私はパウロにつく」「私はアポロに」「私はケバに」「私はキリストにつく」と言っているということです。キリストが分割されたのですか。…」 ▲こういう問題に対してパウロが明確に話した。22-24節「ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシヤ人は知恵を追求します。しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かですが、しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の力、神の知恵なのです。</p> <p>2.神様のまことの力を捜し出すのが十字架のことば ▲十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには神様の力です。十字架のことばで神様のまことの力を捜し出せば、サタンが攻撃できない。18-24節を見つけたのが、十字架のことばだ。十字架のことは神様の力を見つければ、そこで神様の知恵、神様の力が出てくる。</p> <p>3.十字架のことばは、まことの救いの証拠を探すべきだ。 ▲私たちを生かすまことの力は、私たちになくて神様にある。30-31節に、しかしあなたがたは、神によってキリスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとなりました。まさしく、「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりになるためです。私の人生の本当に変化は神様の力で可能だ。私たちがいのちを生かすようにして、死ぬようにするのは神様の御手にある。この救いは知識にあるのではなく、神様の御手にあるということに分かったら霊的に勝利するようになる。</p>	<p>* 序論 ▲みなさんが、今から少しだけ、5分、10分、深い祈りをすれば、多くの答えを受けるようになります。今日が神様にも最も重要な最高の日になるようにしてください!</p> <p>(1)コリント1:18、十字架のことば-救われた私たちには神様の力 (2)コリント2:1、私があなたがけに進むとき-福音を伝えるとき。 (3)コリント2:10、このとき、神様が最も重要な答えをくださる。聖霊でともにおられる。聖霊はすべてのことを通達される。</p> <p>▲みなさんの献身は、本当に伝道のための献身で(マタイ6:33)、宣教のための献身で(マタイ28:20)、福音が宣べ伝えられるとき、神様の奇跡が起こった(出エジプト、出バベロン、出ローマ-解放の奇跡)。</p> <p>▲今日、コリント2:12節がとても重要だ。「ところで、私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜わったものを、私たちが知るためです。[毎日5-10分深く祈れば、目が開かれて、答えの門が開かれる。この力を持って勉強して、この祝福を持って事業して、この答えを持って今日一日を始めて、一週間を始めなさい。祈りの答え、献身するためにどんな方法であれば良いのか。]</p> <p>1.神様の方法で (1)世の中の方法ではない。(コリント2:1、ことばと知恵の美しいことではない) ▲本当に福音があかしされれば、すべての問題は終わる。正確な福音が宣べ伝えられるとき、解放される奇跡が起こる。 (2)神様の奥義を悟る瞬間に神様の大きなみわざが起きる。(4節、7節、8節、9節) (3)聖霊で(10節)-聖霊は神の深みにまで及べられるからです。</p> <p>2.私たちにある永遠なこと(6節) ▲私たちが本当に福音を伝えたらすべての暗やみをみな倒して、永遠な答えをくださるだろう。</p> <p>1)聖書の証拠を見なさい 2)霊的的祝福を見なさい。 3)今でも働きが起きる。</p> <p>3.福音の中にすべてのことが、みな入っている(10節)これを持って献身 ▲10節-神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及べられるからです。 (1)神様と通じるようになる。 (2)過去、現在、未来みな通じるようになる。 (3)コリント15:58、一つも福音なかくて無駄にならない。</p>	<p>1. 実践 (1) 全体メッセージの流れ (使1:1) (2) 講壇メッセージの流れ (使2:42) (3) 実践 (ロマ16:23) ① 個人の実践 ② 実践チーム構成</p> <p>2. 個人化 (1) 使6:1-7 (2) 使8:1-3 (3) 使8:4-8</p> <p>3. 個人伝道 (1) 使8:26 (2) 使9:29 (3) 使9:38-40</p> <hr/> <p>地域(区域)教材: 雲をつかむような現場を生かす詩(詩78:70-72)</p> <hr/> <p>▲険しい世の中という表現をよくします。しかし、神様はこういう世の中を出て行く前-神様ともいえる奥義の力を持つように準備しておかれました。そして、私たちが出て行く現場にはまがりなりゴリヤテのような世の中が待っています。しかし、注意すべきことは、その状況が危険なのではなく、神様の恵みの中にある者には重要な答えの現場であり、祝福の機会と違いはないということです。危険の中で最高の祝福を受けたいダビデが、初めから最後まで逃げなかつたことがあります。ダビデがサムエルに会ってからイスラエルの王になるまで、ダビデの心の中には、主の契約の箱と神様に対する考えが、いつもありました。これがダビデの一生の答えを受けたい奥義です。これは今日、私たちに与えられた天の御命です。イエス・キリストを通して私たちに与えられた祝福を受けよう!神様が準備しておかれたことを捜し出さなければなりません。この祝福を捜し出さなければ、サウル王のように、とても雲をつかむような生活を送るようになります。サウル王は、賢であるダビデを殺そうとつかまえるに通りほど、霊的に大きな困難がありました。神様を知らない人生は、混とんと暗やみとむなしさの中でまよふようになります。</p> <p>1.神様を離れた世の中 ▲まことの幸と真理を探して、多くの人が迷っています。イエス様はヨハネ14節に、わたしは道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを道とでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありませんと言われました。神様と会うことができない人生は、混とんの中でまよいます。原因はわからないが、と原因はわからないが、暗やみの働きです。自分自身の心と考えの基準に従って生活を送っているのですが、神様を離れていけば、身分が生まれながら御怒りを受けるべきユダヤ人(23)で、暗やみの働きが妨げることができません。高い建物にはそれだけ大きく長い影があるように、神様がいない影は、より大きくむなしさの中に陥るようになります。このむなしさを滅すために、人間は各種の文化や神様を行う宗教などに陥って、ますます大きな霊的な困難の中に入つたりもします。</p> <p>2.神様に通る奥義を持ったダビデ ▲私たちが子どもが福音の奥義なしで霊的な雲をつかむような状態で世の中へ行くようになったら、まがりなり人生を失敗するようになります。ダビデは世の中へ出て行く前-神様ともいえる奥義を持ってました。こういうダビデには、難しい世の中が待てる答えと成功の時刻となりました。契約の箱と神様に対する奥義と、みことばの黙想の奥義を持ったダビデに、神様は神様のみことばとみことばを成し遂げる天の軍勢と御使、を送り、答えて働いてくださいました(詩103:22)。</p> <p>(1)邪魔に出会うときは、ダビデのように霊的な挑戦をしなければなりません。一人であるとき、神様のみことばを黙想して賛美する時間は短く、時間でもとても有益です。ダビデは、みことばを通して神様のみことばを見つけて、賛美で祈りながら、技能の答えに挑戦しました。このとき、神様はダビデゴリヤテを倒すほどの雄辯な答え(唯一性の答え)をくださった。 (2)世界福音化の理由を持って、神様の恵み(聖霊)の中で仕事学業に挑戦しなければなりません。サムエルに油を注がれて、契約の箱を聞いた日から、ダビデに主の霊が大きく臨みました(サムエル16:13)</p> <p>3.危険の中で未来のための挑戦 ▲続いた聖書の中でも、ダビデは未来に向かって挑戦しました。 (1)ダビデは神様のサムエルを通して王になるという約束の話を聞きました。拒絶の理由がなかったのです。 (2)そして、神様がともにおられる答えを持っていたので(詩231-6)いつも正しいことがない答えを味わいました。そして (3)みことば黙想と祈りの奥義を持っていたので、完全な勝利の人として立つようになりました。未来に対する答えがあるダビデは、どんな困難の中でも神様の祝福と答えを見えるようになりました。こういう奥義を持った神様の人が世の中へ向かって挑戦するようになるとき、神様の働きで、雲をつかむようなこと、雲をつかむような現場が変わるようになります。</p>
<p>核心: RUTC時代の伝道者の生活の一心、全心、持続 (11)「人生作品を作りなさい」(使28:30-31)</p>			
<p>1. 必ず作らなければならない私の人生作品 (1) マタ28:1-20 (2) 使1:1 (3) 使1:3 (4) 使1:8 (5) 使1:14</p> <p>2. 必ず味わわなければならない私の伝道作品 (1) 使1:1 (2) 使3:1-12 (3) 使13:1-4</p> <p>3. 必ず伝えなければならない人生作品 (1) 使2:43-45 (2) 使4:32-37 (3) 使9:36-43、10:1-6 (4) 使16:15 (5) 使18:1-4</p>	<p>* 結論 ▲「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」一度だけ体験してもかまわない。オリブ山の祈り、十字架で人類と私のために十字架を背負われたキリスト、復活されたキリスト。その方が私たちにくださったオリブ山の約束、その方が私たちに答えを与えてくださったマルコの屋上の間の祈り、ダマスコの祈り、私たちに約束された世界福音化の約束、すべての国の人々に行きなさい、全世界に行きなさい。地の果まで行きなさい。私が聖霊の満ちしを与える。十字架のことば、十字架の道を今日から見つければ、この祝福を味わうようになる。</p>	<p>* 結論 ▲使徒1:1キリスト、使徒1:3神の国、使徒1:8聖霊の満ちし。この約束を持って定刻祈りを始めなさい。ずつとしていけば24時になる。そうすれば、25時になる。力が現れるようになる。このときから、みなさんの過去は土台になって、世の中の仕事で力ができて、天から天命がくだるようになる。このときから本当に重要なことが行われる。IIペテロ3:8千年の答えが一日で成される働き、ローマ16:25-27永遠な答えが起きる。これを握りなさい。今日から正しい福音を宣べ伝える伝道、宣教のために、宣教して勉強すると決心しなさい!</p>	<p>* 結論 ▲神様の人が求める目的は成功ではありません。それは過程で、その次のことを見なければなりません。 (1)ダビデは羊の群れの羊飼いであったとき、最高の答えを味わいました。 (2)賛美するときは、悪霊が奪われる証拠がきました。 (3)ゴリヤテに会ったときは、普救に準備した実力でゴリヤテをはね除けました。 (4)度も死を避けて逃げながらも、そのときごとに最高の答えを受けました。 (5)最高に神様の神様を準備する祝福を受けました。 ▲私たちの現業とすべての職業学業の現場に、こういう答えが監視するように祈りましょう。</p>

週間メッセージの流れ (2014.03.23-2014.03.29)

(1) 聖日1部(3月23日)→たゆむことなく善を行いなさい(Ⅱテサロニケ3:13-15)

困難がきたとき、落胆せずに、サタンがもたらす災い、霊的問題、地獄の背景と運命をひっくり返すキリストのなかで勝利する身分をくださったことを感謝します。どんな場合にも、ただ福音の証拠を通して、最高に愛国して、人を愛して生かす証人として立つことができますように。困難の中で、私が受けている問題と困難を、時代的な答えのメッセージとして握って勝利することができますように。私の人生が未来を見て、ただ福音で世界文化を変えて、レムナントを生かすRUTCの答えを味わえますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(3月23日)→主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたとともに(Ⅱテサロニケ3:16-18)

サタンが砕かれて、災いが崩れて、地獄の背景と運命が変わる、ただキリストを握るようにさせてくださったことを感謝します。24時祈りの中で、幸せと力と答えを得るようにしてください、深い祈りの中でまことにいやされて、最高の答えであるインマテルとみことばが成就する礼拝の祝福を味わえますように。私の力と私の生活を越える聖霊のみわざで、暗やみの勢力が崩れるいやしが起きて、祈りの力を持って御座のみわざと、天の背景の祝福を味わえますように。幸せで深い時間を持って、ともに祈るようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(3月23日)→地域(区域)教材12課:ヨセフとともにおられたので(創世記39:1-6)

▲ヨセフはとても困難があったが、24時祈りながら仕事をした。定期祈り(幸せ、健康、答え)、普段のとき(出会い、仕事、事件を置いて祈り)、問題がきたとき、集中祈りをしながら解答、答えを捜し出しなさい。そうすれば、行く所ごとにいやされる奇跡が起る。ヨセフはどのようにしたのか

- ①ヨセフは契約を握った人だった。(創世記1:3、創世記3:15、創世記6:14)
- ②ヨセフは契約を味わう人だった。(創世記37:1-11、創世記39:1-6、創世記40:1-22)
- ③ヨセフは未来を持った人だった。(創世記37:11、長官との出会い、王の前で未来を言った)
- ④結論 この答えを味わえば、25時答え(私を越える答え)がくる。(Ⅱペテロ3:8、ローマ16:25-27、ピリピ3:20)

(4) テキコチーム(3月23日)→小さな実践(メッセージ流れ)

▲小さな実践ということは、神様導きを受けることだ。まず最初にするのは、メッセージを要約してメッセージの流れを把握して、メッセージに対する小さい実践と伝達だ。

- ①使徒1:3、神の国-40日集中実践-このとき3つの漁場が見える。
- ②使徒2:14-21、聖霊に満たされたペテロの説教-使徒2:28約束の成就、ともに答えを受ける人が起きて、使徒2:17-18どのようにすれば良いという答えと未来が見える。
- ③使徒2:42、講壇のみことば(実践)、交わり(できる神様の計画を伝え)、パン(毎日、救いの中から来る祝福を見つけること)、祈り(確実な契約を握ったのだ)

(5) 火曜集会(3月25日)→伝道の答え30種類1-ミッション(1-10)

▲1主題:生活の答えから-24時

- ①みことばの流れ-メッセージ要約+伝達(使徒1:1)
- ②みことば実践チーム(使徒1:14)-小さな実践、チーム構成(マタイ10章、ルカ10章、ローマ16章)
- ③祈り個人化(使徒2:1)-24時祈り(祈り24、考え24、深い祈り)+個人化(オリブ山の祈り回復-答え、方向)、5つのいやし(亥印、みことば、生活、経済、現場文化のいやし-5基礎)
- ④個人伝道(使徒2:41)-3つの今日と私のこと、私の伝道-300人伝道計画

▲2主題:25時

- ⑤25時霊的世界(ヨハネ14:1-27)-聖霊の満たし(私の祈り-私の方法)
- ⑥25時の門-あらかじめ答えと現場を見て行くようになる(100倍の祝福予備)-伝道(家、弟子、地域)-専門性/唯一性/サミット
- ⑦実準備-時刻表と弟子予備(マタイ28:18-20)
- ⑧唯一性-ただは唯一性だ。サタンはただキリストだけを恐れる。当然性、必然性を見つけて、ただの証人になりなさい!

▲3主題:永遠

⑨永遠の目を見た地教会-神様の導き+ただ福音伝達+永遠の目で(使徒1:8)

⑩永遠の目を見た弟子、弟子化-使徒1:3(40日間契約)、使徒2:1(三つの祭りの祝福)、使徒11:19(宣教の大きい門)、使徒19:21(ローマ)、ローマ16:25-27を理解して見る弟子-霊的サミット

(6) 日本レムナント大会(3月27-28日)→

▲1講:日本-天命無敗(使徒1:1)

- ①序論-サタンの戦略(12問題)を分かるとき、祈り、伝道、宣教の理由を知ることになって、聖書の最高の約束が見える。
- ②聖書の最高の約束(身分-7つの祝福、権威-6つの権威)-信じるときに働きが起る。
- ③最高の使命が始まる-契約を握って偶像文化、暗やみ文化を砕きなさい。
- ④最高の答え-神様の祝福を実現しなさい(エペソ6:12、使徒13章、使徒19:21)
- ⑤結論-1人だけいけば、地域を生かして、1、2人いけば国家と国を生かして、一つのチームがあれば時代を生かす。天命、召命、使命を握りなさい。

▲2講:日本レムナントの一心、全心、持続(使徒1:3)

- ①序論-オリブ山(使徒1:1、3、8)、マルコの屋上の間に起きた神様の祝福に集中しなさい。
- ②一心、全心、持続の理由-私が当然受けなければならぬ祝福だ。
- ③一心の内容-使徒1:1、全心の内容-使徒1:3、持続の内容-使徒1:8
- ④一心、全心、持続の結果-私のこと、専門性、唯一性が出てきて、レムナントを通して契約の情念が成される。

▲3講:レムナントがそるえる基本(ピリピ3:20)

- ①序論-私たちの基準はピリピ3:1-21節に(報い、目標、関心、背景、力)ならなければならない。
- ②先にすること-定期祈り(使徒1:1、3、8)+24時+25時
- ③今からすること-私のことを見つけて、唯一性、サミットに向かって行きなさい。
- ④準備すること-ローマ16:1-23(秘密決死隊)、ローマ16:3-4(レムナント宣教師)、ローマ16:17-20(ホーリーメイソン)
- ⑤常にすること-みことばの流れ、みことばの実現チーム構成、3つの今日、正しい祈りの課題、神様が準備しておかれた門、隠された弟子、絶対的理由ある地教会、絶対的方法/内容/弟子を探しなさい。

(7) 産業宣教(3月29日)→伝道者の生活の一心、全心、持続(11)-文芸、出版、編集、デザイン「作品を作りなさい」(使徒1:1)

- ①時代、賛美、技能、羊飼い、王-伝道者の生活が入った「生活の作品」を作りなさい。
- ②ルカ(人生作品)、テオピロ(時代作品)、霊的メッセージが入った-時代作品を作りなさい
- ③永遠なものを作りなさい(ローマ16:25-27)
- ④結論-サタン文化に勝つ作品を作りなさい。それ以前に、必ずすべきことが、私が先に24時祈りで幸せ、力、答えを見つけた。25時、永遠の中に入りなさい。

(8) 伝道学(3月29日)→伝道者の一心、全心、持続(11)-個人伝道(使徒8:26,29)

(9) 核心訓練(3月29日)→伝道者の生活の一心、全心、持続(11)-人生の作品を作りなさい(使徒28:30-31)

▲集中訓練とは、実際に受けなければならない答えを見つけるようにする訓練だ。「私の人生の作品」を作りなさい。まず聖書で過去に預言されたみことばが、私に成就しなければならぬ。

- ①必ず作らなければならない私の人生作品を作りなさい。(マタイ28:1-20、使徒1:1、3、8、14)
- ②必ず味わわなければならない私の伝道作品を作りなさい。(使徒1:1、使徒3:1-12、使徒13:1-4)
- ③必ずあかししなければならぬ証拠の作品を作りなさい。(使徒2:43-45、使徒4:32-37、使徒9:36-43、使徒10:1-6、使徒16:15、使徒18:1-4)
- ④結論-神様のみことばを実現するチーム構成をしなさい。(ヨシヤとカレブ、サムエルとダビデ、エリヤとエリシヤ、パウロチーム、ルターとカルヴァンとペーズ)この時代になくした福音回復-本当に握れば良い。本当に握ればサタンと暗やみの勢力はみな崩れる。この時間が、その時間になるようにしてください。私を回復させてください。私のみことば実現チームに入るようにしてください!

(10) 地域(区域)教材(3月29日)→13課:豊をつかむような現場を生かす者(詩78:70-72)